

サロベツ再生通信 2011.8発行 第13号

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
豊富町
環境省北海道地方環境事務所
北海道開発局稚内開発建設部
北海道宗谷総合振興局稚内建設管理部

第14回再生技術部会及び現地見学会の開催

7月15日（金）に第14回再生技術部会と現地見学会を開催致しました。平成23年度の初めて再生技術部会は、林野庁北海道森林管理局から出された「稚咲内砂丘林自然再生事業計画書（案）」について協議を行いました。

また、再生技術部会の開催に先立ち、技術部会の構成員を対象にして、落合緩衝帯と落合沼水抜き水路堰止め工を実施している現地の見学会を行いました。



「稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書（案）」について、凡そ2時間にわたり、様々な議論が行われました。議論の結果を踏まえ、「実施計画書（案）」の内容の再検討が林野庁北海道森林管理局において行われます。

担当者からの説明



徒歩での移動や長時間にわたる現地見学会にも係らず、20名を超える方の参加があり、参加者から熱心な質問が出されていました。



木道を徒歩で移動



熱心に説明を聞く参加者

サロベツ湿原センター

昭和61年に開設され、長きにわたって皆さんに愛されてきた「サロベツビジターセンター」は、湿原の泥炭地の上に盛土をして整備していたため地下水の低下を招き、近年周辺植生への影響が懸念されていました。そこで、湿原の環境を守るためにこれまでのサロベツ原生花園自然教室に代わり、円山地区にサロベツ湿原センターを設立しました。

サロベツ湿原センターは、サロベツ湿原の玄関口として、「人と自然の共生」をテーマにサロベツ湿原の自然、人文、歴史などについて、また自然再生の目的や取り組みなど、様々な情報を提供するとともに、様々な活動の拠点にもなっています。



新木道には昨年の倍近い人々が訪れています



豊富小学校の遠足にも利用されました



湿原センターの新展望台



7月27日、3万人目の利用者がいらしていました

エコモープR活動報告（ホッキ祭りに出展）

昨年から、ホッキ祭りや文化祭のような一般の方が訪れるイベントの際に、自然再生普及活動支援ワーキンググループ（以下、支援WG）のメンバーがサロベツ・エコモーププロジェクトのことを紹介をしています。

今年も7月31日に豊富町内で開催されたホッキ祭りに出展し、ゆったりできるスペースにしよう！というアイデアで『エコモープCafe』と名付けてPR活動を行いました。訪れていただいた方には、エコモーププロジェクトを体験できる『ササ茶』『エコも〜太ぬり絵』『サロベツ検定』『サロベツ昔話DVD上映』などを体験してもらいました。また、豊富町産の美味しい牛乳の試飲も好評でした。



今年は立地条件に恵まれたこともあり、昨年以上にたくさんの方（266名）に訪れていただくことができました。またグリーンハウスのくつろいだ雰囲気の中で『エコモープ』展示を見ていただだけ、私たち支援WGメンバーも色々な話をすることができました。

まだまだPR内容の充実など課題や反省点もありますが、身近なところ（イベント）で身近な内容（体験）を通じて自然再生を伝えていくことの意義を感じた一日でした。

次回のPR活動は9月末の豊富町民文化祭にて行う予定です。お楽しみに！

「上サロベツ自然再生協議会」運営事務局 代表
〒098-4110 天塩郡豊富町大通6丁目 豊富町商工観光課
TEL: 0162-82-1001 FAX: 0162-82-2806
E-mail: saisei@town.toyotomi.hokkaido.jp

サロベツの自然再生については、
<http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/>
<http://sarobetsu-saisei.jp/>
もご覧ください。